

重点施策	施策の内容	到達目標	実施担当者	評価チェックランク			チェック所見	備考
				A	B	C		
1 安全意識の徹底と法令遵守	①点呼の充実 アルコールチェッカー、免許証提示、名札健康状態確認、服装、携行品チェック、対面点呼、挨拶	・点呼チェックの充実。 ・点呼指摘者を減少させる	山口ニ左 松原部長			✓	・着実に点呼を実施できた。 ・アルコールチェック指摘者を減少できた。	チェックに掛った人数 8⇒9名
	②荷主指示の「安全運転の取組」を実施し「全員、毎日、Aランク」を目指す。	・安全評価で全員A評価を目指す ・B評価ポイント数を毎月減少	山口ニ左 松原部長	✓			・安全評価を全員A評価を目指し格段に増加出来た。 ・B評価ポイント数は大幅に減少する事が出来た。	当初月と年度末月の数値39⇒30以下
	③無事故無違反乗務員を増加させ表彰する。	・無事故無違反者比率を増加。 ・無事故無違反者を表彰する。	山口ニ左 松原部長	✓			・無事故無違反者比率を増加出来た。 ・無事故無違反者を創立記念日に表彰した。	27年度67名 ⇒66名表賞50人
	④月別「安全標語」の募集の増加を図り採用者を表彰。	・「安全標語」を毎月募集。 ・提出者の増加を図る。	山口ニ左 松原部長		✓		・「安全標語」を毎月募集している。 ・提出者の増加が出来ず安全委員会で図り決定している。	提出者数 4⇒3名 表彰者数 0名
	⑤乗務員全員のSDカードの確認を年1回 8月実施する。	・毎年8月に過去5ヶ年間の調査。 ・11月に陸運京都支局表賞受賞	山口ニ左 松原部長	✓			・8月に過去10ヶ年間のSD全員調査の実績。11月に陸運支局京都事務所より業界としても初めて表賞を獲得出来、授賞式典に臨めた。	会社全体の安全分析を受けた
	⑥トラック協会の「セーフティー・ラリー」に全社員が参加する。(毎年11月～1月期開催)	・11月より1月までの3ヶ月間。 無事故無違反チームを増やす。	山口ニ左 松原部長	✓			・11月より1月までの3ヶ月間調査で85名が取組んでいる。 ・3月初めに発表される。	トラック協会の開催に参加85名
	⑦運輸安全委員会(安全衛生委員会)の定期開催実施。	・原則毎月1回、第4週に開催。 ・安全性の向上へ労組連携協議。	山口ニ左 松原部長	✓			・原則毎月1回、第4週に開催出来た。 ・安全性の向上へ労組連携のもと協議出来た。	安全衛生・環境委員会と共催
	⑧「無事故日数」・「エコドラB数」を掲示し、安全意識を高める。	・無事故日数を掲げ交通安全意識を啓発させる。	山口ニ左 松原部長	✓			・無事故日数を掲げ交通安全意識を啓発させた。 ・エコドラベストテンの一覧は役員室に掲示している。	エコドラ掲出は可能な形で表示
	施策の内容	到達目標	実施担当者	評価チェックランク			チェック所見	備考
2 安全投資	①交通安全講習会開催(年2回の当社参加者残業手当等の負担)	・春秋の2回の開催 ・全乗務員と派遣社員も対象	松原部長 山口ニ左	✓			・春の開催及び秋(9月)は協同組合からの負担に変更された。 ・協同組合従業員の乗務員も参加、当社は乗務員と作業員も参加。	・安全講習会参加者の残業代支払
	②自動車安全運転センターのSDカード契約を継続する。	・会社の安全性評価の向上。 ・乗務員各自のSDカード申請。	山口ニ左 松原部長	✓			・乗務員全員のSDカードを申請費用と企業の安全性評価費用。	700円×約72人 =50,400円
	③デルタ自動車免許教習所や自動車事故対策機構等で実車運転教習受講実施。	・事故惹起者・長期療養復帰者 ・嘱託・契約社員採用時実施	山口ニ左 松原部長	✓			・事故惹起者・長期療養復帰者・嘱託・契約社員採用時実施した。	当年度は今までの所無し。¥16,000円
	④「安全4冠」達成乗務員へ褒賞支給し安全意識を向上	・未達成者は20人以内	松原部長	✓			・当日休無等、4基準、B評価1回/月を2回/月に基準は変更された。	月63名88.1%受給
3 情報連絡体制整備	①ドラレコの「ヒヤリ・ハット」提出と情報交流で安全意識を高める。	・事故発生地図一覧を掲出周知。 ・事故惹起者からヒヤリ情報提出	山口ニ左 松原部長	✓			・前年分の事故発生地図一覧を掲出し、事故惹起者からもヒヤリハットの情報をドラレコ動画にて提出されている。	提出件数21名(事故関連除く)
	②荷主の環境局と年二回情報交流を行う	・本庁及び全まち美化事務所等		✓			・情報交流・苦情把握・協同組合情報・業務評価・要望把握	約年2回実施
	施策の内容	到達目標	実施担当者	評価チェックランク			チェック所見	備考
4 安全研修安全教育	①交通安全講習会の春秋季年二回開催する。再掲	・外部専門講師による安全講習。 ・逐次適切な講師を依頼確保。	山口ニ左 松原部長	✓			・外部自動車免許講習所の専門講師による安全講習を実施。 ・自動車メーカー専門技術者等逐次適切な講師を依頼確保した。	機械車の安全作業左ドア開け危険性
	②新規契約乗務社員などに安全作業講習を実施。	・作業安全マニュアルを徹底。 ・ビデオ等現場教育の充実。	山口ニ左 松原部長	✓			・作業安全マニュアルを徹底し、作業ビデオ等現場教育の安全充実させた。	新入契約者数8名
	③事故再発者及び療養回復等の乗務復帰者指導。	・交通事故対策機構等や産業医と相談。運転教習所評価を用いる。	山口ニ左 松原部長	✓			・交通事故対策機構等や産業医と連携し運転教習所の適正評価を基に指導に毎年努めている。	乗務復帰者数 0名
	④運行データの自己確認を自主的・定期的・安全意識の向上に努める。(安全運転の取組による)	・デジタコデータを検索し配布。 ・安全運転取組基準の全員毎日A	山口ニ左 松原部長	✓			・乗務員各自がデジタコデータ等を検索し、安全運転取組基準の確認を積極的に行っていることが定着出来た。	・月別結果等を役員室等に掲示
	⑤運行管理者や整備管理者等の研修に参加する。	・トラック協会主催の研修。国土交通省運輸安全関係法令の法令	山口ニ左	✓			・トラック協会主催の研修等、国土交通省運輸安全関係法令の法令	法令改正など最新情報の取得

法令セミナーなどの研修を積極的に受ける。	父連有連制女王関係法第の調査	松原部長	▼	セミナーに参加。運行管理者、整備管理者、エコドライブ推進者等	10報の取付した
----------------------	----------------	------	---	--------------------------------	----------

	施策の内容	到達目標	実施担当者	評価チェックランク			チェック所見	備考	
				A	B	C			
5	点検実施	①安全点検委員会にて点検するチェック内容の検討。	・点検項目を審議し項目修正。 ・点検を行い逐次社長へ提出。	千田部長	✓			・次年度に目標設定等やチェック項目等についての検討を行い最新の改善チェック項目にする。	次年度項目検討
		②事故・災害防止・緊急対策の取組を年一回チェック。	・震災時緊急対策マニュアル点検 ・適切なチェック項目を設定する。	千田部長	✓			・震災時緊急対策マニュアルを点検し、11月4日に消防署と連携して実施訓練した。適切なチェック項目を検討した。	緊急事態等救命訓練を実施した
	施策の内容	到達目標	実施担当者	評価チェックランク			チェック所見	備考	
				A	B	C			
6	健康の増進	①定期検診及び特定診断を全社員に実施する。	・全社員の健康診断受診の管理 ・健康維持啓発	田野課長	✓			・全社員の健康診断受診の管理を行うと共に自己の健康管理の大切さを啓発した。・当社社内で検診車バスによる検診実施。	128/134/68% (未受診者6名)
		②受診者の精密検診必要者や治療の必要者をフォロー。	・受診後注意を受けた者を観察。 ・病欠欠勤休暇者への経過観察。	田野課長	✓			・健康診断受診後注意を受けた者を観察し病欠欠勤者へ健康啓発指導を行った。(労災二次検診対象者数 2名)	有所見者数率68% 本57+RC30=87
	施策の内容	到達目標	実施担当者	評価チェックABC 取組チェックの狙い			チェック所見	備考	
7	次年度計画立案	①健康診断による有所見者の減少を図る。(56.9%)	・ストレスチェック等の実施を検討。 ・有所見者に面談し確認する。	田野課長 千田部長	・インフルエンザ等感染症・病欠者の減少を目指す。			・有所見者が必ず医師に治療診断を受けている事を啓発し確認。 ・休憩室、作業員室等をより快適環境にして行く事を旨とする。	点検委員会から社長・監査役・統括責任者に提出
		②安全対策情報を外部に見えるよう開示する。	・部外者にも分かるよう掲示する ・何時でも渡せる紹介冊子作成。	松原部長 中西専務	・安全な企業イメージ創出・独自のHPの創設準備。			・本社入り口に安全方針を掲示し、事務所入り口内に安全管理表を掲示している。希望者には安全管理書類を纏めて配布している。	

進捗評価	評価チェックランク		
	A	B	C
評価数	21	1	1
項目数	23		
評価率	91.3%	4.3%	4.3%